

公共事業環境配慮書

建設部 道路建設課

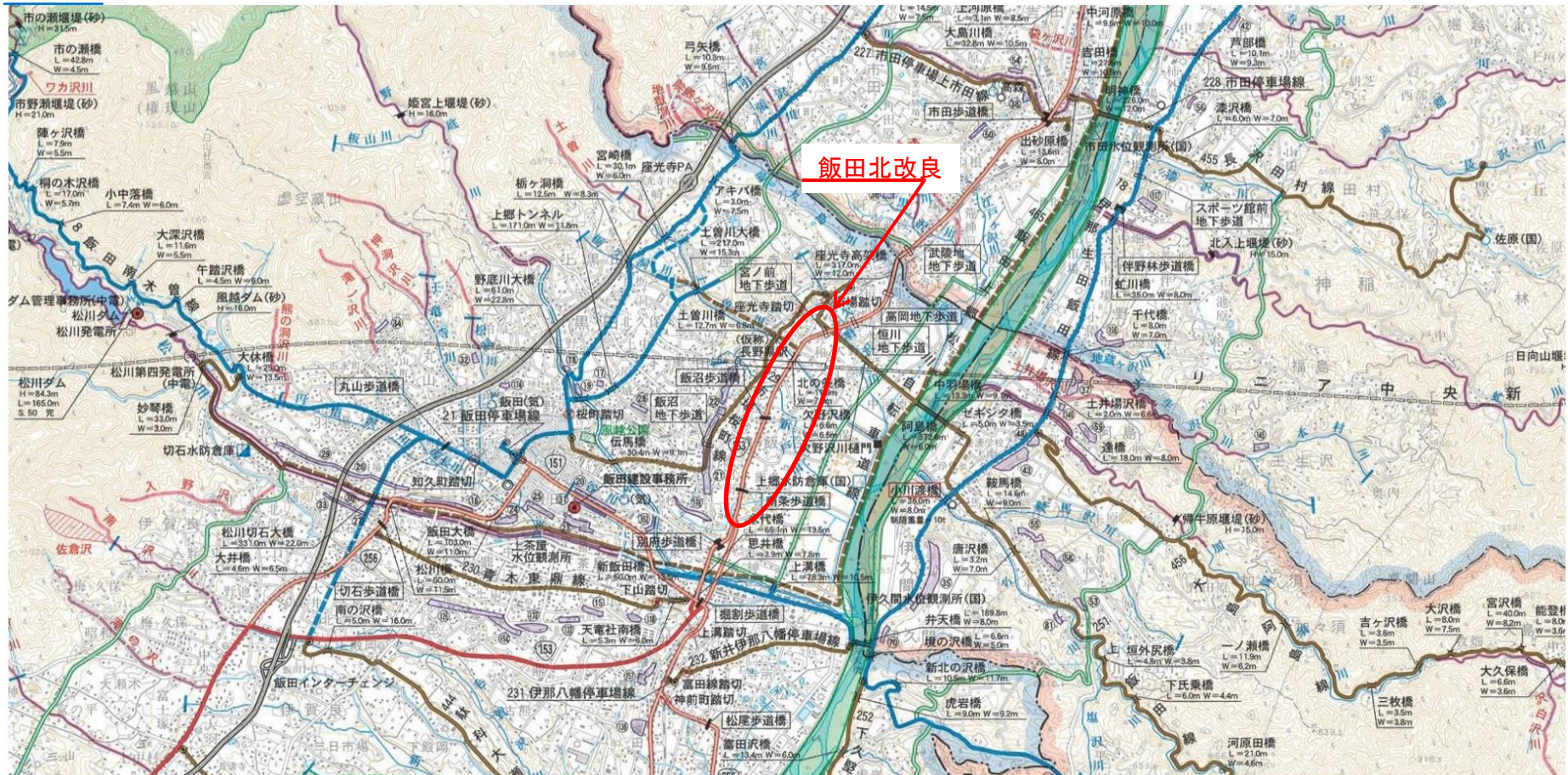
事業名称		
事業名	道路改築事業	
整理番号	R4-8	
事業の種類	道路(国道、県道、農道、林道)の新設・改築 及び街路の整備	
市町村名	飯田市	
箇所名	飯田北改良	
事業年度	平成28年度～令和9年度	
事業概要		
目的	一般国道153号は、政令指定都市である名古屋市から地方中心都市である飯田市、特に地域で重要な拠点(都市)で塩尻市に至る路線である。重要物流道路である一般国道153号の一部にあたる当該箇所を整備することにより地方中心都市の飯田市、地方生活中心都市の伊那市、特に地域で重要な都市の塩尻市との平常時、災害時を問わない安全かつ円滑な物流の確保に寄与するものである。	
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	道路築造工 L=2,600m W=14.0(25.5～27.0)m	
関連する事業計画	リニア中央新幹線整備計画、しあわせ信州創造プラン、長野県新総合交通ビジョン、飯田市都市計画マスタープラン	
その他特記事項	なし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	河川法の河川区域または河川保全区域 文化財保護法の周知の埋蔵文化財包蔵地	都市計画法の用途地域(準工業地域、近接商業地域) なし
その他	なし	なし
社会的要素		
留意すべき地域の概況		
交通の現況	交通量は21,275台/日と多く、慢性的な渋滞が発生し(混雑度1.74)、円滑な交通に支障をきたしている。	
土地利用の現況	市街地である	
生活関連施設の現況	住居が点在している 周辺に上郷なかよし保育園がある	
その他	特になし	
自然的環境要素		
環境配慮の方針		
大気環境	留意すべき地域の概況	特になし
【大気汚染の防止】		
・土砂表層や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い、粉じんの飛散を防止する。		
・排出ガス対策型の車両や機械を使用する。		
【騒音、振動の防止】		
・低騒音・低振動型の建設機械を使用する。		
【悪臭の防止】		
・悪臭原因物質を使用しない又は使用量を削減する。		
水環境	留意すべき地域の概況	河川・湖沼がある
【水質汚濁の防止】		
・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。		
・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。		
【水循環の保全】		
・水田や地下水・湧水を保全する。		
・地下水を使用しない又は使用量を削減する。		
・河川において、下流域の環境の保全のため、正常な流量を確保する。		
地形・地質	留意すべき地域の概況	扇状地である
【改変面積の最小化】		
・工事施工ヤードの設置は、必要最小限の面積とする。		
景観	留意すべき地域の概況	特になし
【すぐれた景観の保全】		
・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。		
文化財等	留意すべき地域の概況	周知の埋蔵文化財包蔵地がある
【文化財等への配慮】		
・工事着手前に埋蔵文化財調査を実施し、埋蔵文化財保護を行う。		

廃棄物・ 建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。
省資源・ 省エネルギー・ 温室効果ガス	【資源の有効利用】
	・使用基準等に留意の上、再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用を推進する。
	【環境への負荷の少ない機械の利用等】
	・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。
【エネルギーの有効利用】	
・LED照明、節水機器等の省エネルギー設備の導入に努める。	

番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	水環境	流域治水推進のため、河川への流入抑制対策（浸透側溝や浸透柵などによる雨水の地下浸透等）を可能な限り検討願います。	流域治水推進のため、河川への流入抑制対策に努めます。
2	光害	街灯を設置する際は、良好な生活環境の保全に関する条例第51条第1項及び第2項により光害が生じないように努めてください。	照明の設置に当たっては、光害が生じないように努めます。

位置図

道路改築事業
(国)153号 飯田市 飯田北改良



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したもの(承認番号 平26 関複、第50号)の一部を転載したものである。